



船越半島から見た山田湾



道又秀悦議員

水産振興

三陸で光り輝く漁協へ

町として積極的に支援していく

質問 三陸やまだ漁業協同組合は、本町の大浦、織笠、山田湾、大沢の4漁協が合併して発足し、5カ月が過ぎた。漁業を取り巻く環境は年々厳しさを増しているが、その名のとおり、三陸の地で光り輝く漁協になってほしいと願っている。その漁協に対し、町が行う支援策について町長はどのよ

うな考えを持っているか。
沼崎町長 町の基幹産業である漁業の現状は、大変厳しいことは承知している。三陸やまだ漁業協同組合の経営基盤が強固なものとなるよう、組合員の負託にこたえるべく取り組む事業や財務改善策に対し、町として積極的に支援していく考えである。

議員12人が一般質問

質問 教職員の授業力・指導力の向上の中で、読書活動の重要性を再認識し、子供たちが学校や家庭で本と接する機会を増やしていくとのことであるが、具体的に説明せよ。
岩船教育長 各学校では、子供たち自身の朝読書、教職員やボランティアによる読み聞かせなど、読書活動に取り組んでいる。読書感想文についても、平成21年度は町内の小学3年児童が、岩手県最優秀賞、全国入選を果たすなど書く力も高

まってきた。今後、新学習指導要領が本格実施となり、読書活動の重要性が増すことから、次の3点に力を入れていきたい。
①授業の中に、辞典や図鑑を使って調べるなど、積極的に図書の活用を取り入れる。
②朝読書などの継続、茶の間に国語辞典、家族で10分間読書を呼びかける。
③「学校図書館へ親子で行こう行こう週間」など開かれた学校図書館活動に努める。

教育行政 本と接する機会増やす取り組み 授業の中で辞典や図鑑を活用

質問 発足間もない三陸やまだ漁業協同組合の業務内容と平成21年度決算見込み

はどのような見通しか。
沼崎町長 21年度の決算見込みについては、アワビ・ウニなど前年度より伸びたものの、カキ・ワカメなど前年度を下回ったものもあるが、何といたっても自営定置網が前年比66%ほどであり、全体で見れば前年度を下回る見通しである。